



平成29年度を迎えて

医療型障害児入所施設と療養介護、両方の指定を同時に受ける従来のみなし規定が恒久化制度になりました。ただし、入所者の年齢や状態に応じた適切な日中活動を提供していくことが前提とされております。

島田療育センターも新センターの建設を目指して計画を進めています。その際に国が要望している、特に療養介護での療育の在り方にも誠実に応えていかねばなりません。国の制度として児者一貫の考え方が恒久制度として認められた今、個々の利用者に対する療育の内容を年齢や状態を考慮した中で見直しを図ると同

時に、それを療育計画の中で「見える化」して多くの人々が納得できる療育内容を提示していく必要があります。この大きな使命を念頭において今年度の「療育を見つめ直し組織力の強化、経営の安定化を図る」という目標を実現していきたいと思っております。みんなで一致団結して進んでいきましょう。



院長 木実谷 哲史

平成29年度の方針

- 1 健全な財務体制の構築
- 2 接遇の向上
- 3 業務の見直しを図る
- 4 人材育成と組織力の強化を図る
- 5 新センター建設計画の構築

平成29年度

主な行事予定・就学状況

4月 新職員オリエンテーション
デイケアセンター入所式

5月 第56回創立記念式

6月 1病棟運動会
2病棟大遠足 (1班)
3病棟大遠足 (西棟)
5病棟全体活動
6病棟茶話会
7病棟大遠足 (西棟)
デイケアセンター運動会
島田療育センター集談会

9月 島田わいわい祭り

10月 1病棟秋の楽しみ会
2病棟大遠足 (2班)
3病棟大遠足 (東棟)
5病棟大遠足
6病棟大遠足 (1班)
7病棟大遠足 (東棟)

11月 3病棟運動会
6病棟大遠足 (2班)
島田療育センター集談会

12月 クリスマス会

1月 (入所) 成人・還暦のお祝い
(通所) 成人を祝う会

2月 公開シンポジウム

3月 デイケアセンター卒園式
総合防災訓練

その他イベント予定

CAPP、各種コンサート、各種講演会 (セブンクローバー)、多摩市障がい者美術作品展…など

東京都立多摩桜の丘学園在籍数 (4月1日現在)

	本校	分教室	総数
小学部	1名	4名	14名
中学部	0名	2名	
高等部	3名	4名	

発達支援センター

1月14日 (土)

第12回 心理講演会 を開催いたしました

去る1月14日(土)、早稲田大学教育学部の本田恵子先生を講師にお迎えし、「怒りのコントロールが難しい子どもの理解と支援—家庭や学校でできるアンガーマネジメント—」という演題でご講演いただきました。「アンガー」という言葉をご存知でしょうか? 「キレル」とか「怒り」といった言葉で表されたりしますが、アンガーは、いろいろな感情が入り混じった「混沌とした状態」のことを指します。本田先生のお話は、まず「キレやすい」とされる子どもたちの背景を理解していくことから始まりました。今回のテーマである「アンガーマネジメント」とは、そのような状態にある子どもたちが、ストレスマネジメントの力をつけること、状況をとらえるために視点を変える方法を学ぶこと、そして衝動的な行動へ対応するためにソーシャルスキルを学ぶことを目指しています。



講演では、アンガーの表出のタイプや、脳の発達と感情のコントロールの関係について事例を紹介しながら、わかりやすく教えていただきました。そして、実際に怒りの最中にある子どもの映像を観ながら、言動から問題を見立て、子どもの気持ちや特性を踏まえた上での具体

的な声かけの方法や、先生が開発されたワークシートに沿った指導方法等をご紹介いただきました。講演会後のアンケートでは、「学校や家庭で活用できる具体的な方法を学べた」「子どもの気持ちに寄り添い、受け止める姿勢を大切にしたい」等のお声をいただきました。子どもだけではなく、関わる私たち大人の側の気持ちをマネジメントすることの大切さも感じられる機会となったのであれば幸いです。事前に参加者の皆様にお寄せいただいた質問に対する本田先生のご回答を、当センターホームページ内のブログにてご紹介しております。ご興味のある方はぜひご覧ください。

休憩時間には、書籍販売コーナーに本田先生自ら出向き、参加者の皆様に御著書や教材をご紹介くださるひと時もありました。気さくで、でも子どもたちに向き合う強い情熱をお持ちの本田先生のお話をうかがうことができ、2時間半が短く感じるほど充実した時間を過ごすことができました。今回、保護者、教員、学童クラブや放課後等デイサービスの指導員、保育士など様々なお立場の方々から定員を超えてお申込みいただきました。これからも皆様のご期待に応えるべく、子どもたちを理解し、よりよい支援を行っていくためのヒントが得られるような講演会を開催していきたいと思っております。



(心理判定員 眞田 恵)

第16回 島田療育センター

2月12日 (日)

公開シンポジウム を開催いたしました

今回のシンポジウムは人生の時間軸の中でも大半を占める「就労」をテーマにしました。というのも、発達に課題のあるなしにかかわらず、今の子どもたちは人間関係をうまく築けない、自分で意思決定できない、自己肯定感を持ってない、といった様々な問題を抱える方が多く、これらの要因によって就労に躓く方が多いからです。彼らが社会で生きる力を身に付け、直面する課題に対し柔軟に対応し、社会人として自立できる、そのような支援の在り方がいま求められています。



文京学院大学客員教授
松為 信雄 氏

今まで私は「仕事は楽しければ良い」という個人的な充足感を重視していました。しかし、基調講演の松為(まっい)氏からは、「役割を果たしながら能力や興味を発揮し、様々な満足を得ること」が仕事の意義であるとお話がありました。つまり、個の様々な好奇心を維持させるという個人的充足感だけでなく、社会的な役割を担うことから得られる社会的充足感、この両者を満たし、生活の質の向上に繋げていくことが仕事をする上で必要だということなのでしょう。

次に、話題提供の勿田(はねだ)氏は、就労に向けた準備として、規則正しい生活を確立すること、作業遂行能力、コミュニケーションスキル、自己管理スキル、の獲得が大切であるとお話されていました。その中でも作業を正確にこなすこと、失敗を報告できること、時間を

意識して行動できること、などが特に重要であると強調されていました。

伊藤氏からは、様々な個性を持つ方々が参加できる、多様な働き場を創ることの大切さについてお話がありました。また、国府氏と伊藤氏との対談では、現在働いている明星大学内のカフェでの、生き活きとした仕事ぶりをお伺いすることができました。ご本人に合った仕事をマッチングできたことは無論大切です。しかし、それだけではありません。国府氏の理解者である応援団の方々の力が大きかったと思います。それらが融合することによって、国府氏のカフェの仕事がディーセントワーク(働きがいのある人間らしい仕事)になったのだと感じました。



株式会社スタートライン
勿田 文記 氏



NPO法人やまぼうし理事長
伊藤 勲 氏



NPO法人やまぼうし利用者
国府 諒 氏

最後に、「応援団は困った時に相談援助できる存在だが、伝えられない子が多い、でも自分を肯定できるものを見つけれたら、苦手なこともヘルプと言えるようになる」とおっしゃられた松為氏のお言葉もとても印象に残りました。今回学んだことは、私たちが行う療育の中にも積極的に取り入れていきたいと思っています。未来ある子どもたちの前向きな気持ちや自己肯定感が得られるよう配慮しつつ、地域の支援ネットワークの一員として、これからも尽力して参ります。演者の皆様、ご聴講くださった皆様、ありがとうございました。(支援部長 山本 秀二)

MAPCAP委員会

虐待防止研修 実施報告

1月16日(月)と2月20日(月)の2回、厚生棟研修室にて、虐待防止研修が行われました。全職員対象で2回とも同じ内容で実施され、171名が参加しました。講演していただいた多摩の森総合法律事務所の弁護士、中田雅久氏は、難しい法律の条文ではなく様々な事例をもとに現場の状況に則したお話をして下さり、とても分かりやすく学ぶことができました。

また、後半には各6名ほどのグループに分かれて課題についてディスカッションを行いました。いくつかのグループの発表を聞くことも、貴重な体験になりました。盛り沢山の研修で、1時間では足りないくらいでした。日々業務に追われていると、つい見過ごしてしまいがちな小さいサインを放置せず、これは虐待にあたらぬのか自分たちの行いを振り返ってみることで、そして何より現場の職員同士で話し合い、共有し合うことが大切であると実感しました。職員一人一人が虐待防止について考えるとても良い機会になりました。

(編集委員 宮田 雅美)



職員対象コンプライアンスセミナー

個人情報保護研修 実施報告

1月30日(月)、厚生棟研修室にて全職員を対象とした「平成28年度 コンプライアンスセミナー(個人情報保護)」が行われました。今回はプライバシーマーク取得支援や、福祉分野を中心に研修講師を務められている山本伊都子氏(認定プライバシーコンサルタント)をお招きし、「個人情報の取扱いと安全対策」をテーマに講義を行っていただきました。

講義は前半で「個人情報とプライバシーの違い」を明確にさせていただき、後半で個人情報を安全に守るために必要な取り組みや、事前に実際の現場からあがった質問について対応方法などのアドバイスを頂きました。参加した職員は120名を超え熱心に聴講していました。研修後のアンケートでは「個人情報とプライバシーの違いが分かりやすかった」「業務上での対応に役立つ」などの意見が多く、高い研修効果があったと感じました。

今年は改正個人情報保護法の施行が控えており、センシティブ情報を多く取扱う医療機関の責任は今まで以上に重くなります。当センターも個人情報の取扱いには一層気を引き締め、利用者様やご家族に安心してサービスをご利用いただけるよう努めたいと思います。

(個人情報保護委員 津野 一樹)



医療安全講習会

行動制限・身体拘束について 実施報告

2月15日(水)、27日(月)の2日間、厚生棟にて医療安全講習会が行われました。テーマは『行動制限・身体拘束について～基本的な考え方と実技講習』で、MAPCAP委員会の虐待防止研修とも繋がる内容でした。現在、利用者様の人権を守る上で身体拘束を減らす取り組みが求められています。しかし医療管理上、身体拘束をしない事で利用者様に心身の危険が発生する事もある為、ゼロにする事が難しいという現状があります。

どうしても身体拘束を行わなければならない場合は、利用者様側からの3つの必要要件①危険の切迫性、②方法の非代替性、③拘束の一時性と、職員側からの3つの必要条件①同意、②確認、③記録が重要であるというお話でした。この講習により、職種を問わずセンター全体で身体拘束について改めて考えるきっかけになれば良いと思います。

(編集委員 中野 智子)



国土舘大学体育学部

介護等体験実習の受入れ

「利用者のAさん、何を伝えたかったのだろう…ずっとイライラしていたみたい。私、わかってあげられませんでした。」実習初日、そう語ったのはシンクロナイズドスイミング部の女子学生Yさんです。学生にとって、利用者様とのコミュニケーションはチャレンジそのもの。戸惑い、悩みながら介護等体験は進んでいきます。

平成29年度で受け入れ18年目となる介護等体験、これまでに学生さんは約5,000人、島田療育センターを知っている人が日本全国にたくさんいて、ふと利用者様を思い出して下さっているのかなと思うと不思議な感覚になりました。

やがて社会に巣立つ彼らが、人との関わりを見つめなおしたり介護分野に視野を広げたりし、心身共により一層大きく成長していくため、そのステップのひとつとなるように、心を新たに平成29年度も5月～12月に248名(予定)の学生を受け入れます。

(療育長 岩井 理)



得意な歌とギターで、日中活動に参加



初日の緊張をほぐして「はい！ポーズ」

多摩市立南鶴牧小学校合唱団 訪問コンサートを開催いたしました

1月22日(日)、厚生棟研修室を会場にして合唱団のライブコンサートを開催しました。小学生をお迎えしてのコンサートは、利用者様にとっても初めての体験です。期待感いっぱいの笑顔で各病棟から会場に集まりました。



今回は5年生と6年生が45名、顧問の先生と一生懸命練習してきた合唱曲を披露してくれました。ピアノ伴奏の音色と45名の明るく澄みきった声が、会場内を満たしました。曲の進行も生徒3名の方に丁寧に任せていただき、なごやかで温かいコンサートでした。コンサートの様子は、ライブ映像として各病棟にも届けられました。(編集委員 高橋 節夫)

プログラム曲

1. JUMP!	2. 花束を空になげよう
3. ほら、教室は宇宙だ	4. ようこちゃんか
5. 大阪風お好み焼き	6. 夢をかなえてドラえもん
7. 麦の唄	8. くいつこなりっこ
9. 怪獣のバラード	10. ぼくらのエコー
11. あなたへのメッセージ	12. あすにとどけ



平成28年度全国重症心身障害児者施設職員研修会 施設管理研究会コース 参加報告

1月25日(水)~27日(金)の3日間、大阪(山西福祉記念会館)に於いて212人参加の中、当センターからは3名で出席させていただきました。全体討議で、身近な災害対策及び防犯対策について講義を受けました。

平成28年5月に発生した熊本地震、同年7月に起きた神奈川県立「津久井やまゆり園」(相模原市)での入所者殺傷事件と、私たちの身の周りには常に危険が存在し

ています。そのため、自分たちで危険を防止し、被害を最小限に食い止める対策が必要と痛感しました。今回の研修では大阪府警根崎警察署の皆さんから護身術の実演及び体験指導をしていただき、いくつかポイントを教わりました。

当センターも防犯研修で学びましたが、有事の際に適切な行動に移せるまでには、定期的な訓練が必要と感じました。今回学んだことを、当センターの防犯訓練にも生かしていきたいと思っております。

(会計科主任 鈴木 重美)

おしらせコーナー



第56回創立記念式

平成29年5月1日に創立記念式が行われます。当センターは、今年で創立56年を迎えます。

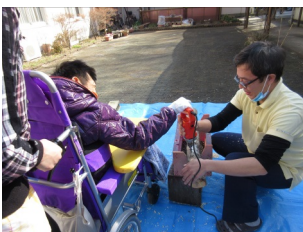
イベント情報メールマガジン

島田療育センターで行われている各種イベントの情報をメールマガジン形式でお知らせします。ホームページまたは右のQRコードから空メールを送ってご登録ください。



shot! ひと息

ほっとステーションの様子



A室 しいたけ作業スタート



B室 「春に向けて」

実習生受入状況

平成29年2月~平成29年3月

種別	人数	種別	人数
看護師	20名	作業療法士	2名
保育士	9名	言語聴覚士	1名
介護福祉士	6名	心理判定員	7名
医師(研修医)	1名	※介護等体験実習の数は含みません	

